第2回ふれあい懇談会懇談要旨

- ■開催日時 平成29年11月18日(土) 10時~12時
- ■開催場所 新木近隣センター
- ■参加者 36名
- ■市出席者 星野市長、川村総務部長、大畑企画財政部長、四家市民生活部長、 渡辺環境経済部長、大谷建設部長、渡辺都市部長、他管理職9人

■懇談要旨

市民:免許証の返納優遇制度のあびバスとタクシーの利用券を活用していますが、 あびバスの利用について利用者が非常に少ないことがあります。理由として経路 と午後4時の買い物に多く利用する時間帯に運行していないことがあると考えま す。

経路につきまして、昔に比べ近隣センター高齢者の利用が増えてきましたので、 ここを夜ルートや、今度出来るカスミ側へのルートを午前2回、午後2回程度増 やして高齢者に優しくなるよう検討してほしい。

建設部長:平成28年10月1日より新バスで新ルートの運行をしています。運行にあたっては、当時意見を伺った中で湖北駅までの便を増やしてほしいといった意見が多かったことから、現在の状況となっています。近隣センターへのルートは、小学校があり子供たちに危険であることコースを複雑にすることで時間がかかること等から、運行便を増やすことはできません。また、新木ルートの利用者は新ルート導入時は、多少減りましたが今は元に戻っています。

市長:コースについて、近隣センターへは当初乗り入れていましたが、運行してみますとUターンするために時間がかかって、電車の時間に間に合わないなどの状況でしたので1年ほどで止めました。また、吾妻台の坂道はバスの登りの踏み込みによるエンジンの音がうるさくなることから、通さないでといった意見をいただきました。新木駅南口へのバスの乗り入れについては、駅エレベーターを設置していく要望の中で、南口に行けるようにするためといった事情がありました。

しかし、今のコースや運行内容は状況を見ながら検証し見直すこととしています。あびバスは、高齢者の外出支援という目的であり、黒字路線にはならないと

いうことを前提としております。

- 市民: 気象台公園の前で開発が始まりましたが、説明してください。 2点目は、夜間 356号線を防犯パトロールしていますが、歩道が狭く家から木が伸びてきてより狭くなっています。何とかなりませんか。
- 都市部長:現地は平成10年に開発許可が出ている場所です。当初工事を始めたようですが理由は分かりませんが中断していました。今年になってから、現場の状況を確認するための調査をはじめ動き始めたようです。具体的な申請書類は市に上がっていませんが、許可当初から20年近くたっていることから地域住民への説明を実施するよう話します。
- 建設部長:356号の歩道は狭いところがあります。後程、樹木が歩道にでている場所を教えていただき、所有者にお願いするなど対応したいと思います。
- 市民:カスミ・ウエルシアが開店すると踏切の両側の道路は車で埋まってしまうと 想定されます。この交通量の問題からも安全を確保してもらいたいと思います。 ぜひ開店するお店の方々とも安全を第一に考えた話をしてください。
- 市長:交通問題や安全を確保するためにはまず、道路の拡幅があると思います。下 新木踏切の道路用地については、現在地権者の方々の理解がだんだん進んできて います。用地取得できた所から整備を進めていきたいと思います。同時にJRと も協議を進めていきたいと思います。ご理解ください。
- 市民:あびバスの利用者が少ないなどの話がありました。年間1,000万円の補助があるとのことですが、止めてしまってタクシー会社と協力して半額でも補助するなどの高齢者が表に出られるように、補助をするなど考えてほしい。
 - 2点目は、久遠園のところの交差点で事故が多いことから、ぜひ、信号機を付けてほしい。
- 市長:一つの考えだと思います。免許証の自主返納を促すためにもタクシー会社・バス会社の了解がなければなりません。例えば、今行っている福祉タクシーの利用者への補助は、タクシーの初乗り料金分を補助し、それ以上は個人負担となっています。そういった制度がよいのか、沿線住民の理解が必要と考えられます。新木ルートでは、湖北駅から湖北地区公民館間で利用している多くの高齢者もい

らっしゃいまして、新木地区の方々だけでない利用者も現実いらっしゃいます。 久遠園のところの交差点が危険なことは認識しております。計画道路の進捗状況 と合わせて設置出来るよう進めています。

市民:道路関係についてですが、近隣センターから東へ行ったところに三つ又の交差点があります、公道か私道か分かりませんが、通学路にもなっていますが、真ん中の道が非常に狭くて危険です。車止めや道路の拡幅をするなど、安全のための整備が出来ないか。

建設部長:市の道路だと思います。まず、場所を教えていただきたいと思います。 そのうえで現場を確認させていただき、どのような安全対策が可能なのか検討さ せてください。

市民:ミニストップ裏側の街路灯について、自治会が管理できない、新規に設置できないなどの箇所については、どうしたらいいか教えてほしい。

市長:そこは自治会がありますが、戸数が少ない新しい地区です。街路灯設置を 自治会が要望しないで市が設置することは、他の自治会との観点から出来ません。 現実的に30世帯以下の自治会では、新規に街路灯を設置することやLED化は 困難だと思います。他の自治会との公平性をどう保てるのか検討させてください。

市民:お休み処の有効活用について、湖北の南口にあるお休み処は、以前はバスの 待ち合わせ場所として賑やかでしたが、現在では2・3人しか利用しておりませ ん。もったいないなといつも思っています。新木に出来た施設は、利用人数に対 して補助金がもらえるようになっているため一生懸命事業しています。ぜひ湖北 のお休み処も老人が集まれるようにしてほしい。

市長:お休み処は市内唯一の施設です。湖北台の高齢者の利用が多いのですが、あの裏側に囲碁やカラオケや体操などが出来る、きらめきデイサービス事業を民間がやっている場所があります。市内でも30か所ぐらいやっているようです。今後は、今までの施設の活用を考えていくよりも、きらめきデイサービスなどの事業にシフトしていくことを考える時期に来ているのかと思っています。

市民: 吾妻台から田口医院に向けてバス停に行くときに車の間をぬっていくような 危険な状態です。こういった場所に信号機を設置してほしい。

市長:信号機や横断歩道の設置要望は我孫子市内でも多くあります。信号機の設置

については、警察が行いますが、現実的には県警でも年間60か所ぐらいの予算 しかありません。予算を増やさなければ設置要望してもなかなか実現できません。 今は、この予算も増やしてもらえるようお願いしています。

市民:私の仕事をしているとこで感じたことですが、商店が多い場所でのことですが、異常気象で突然大雨が降ってきたりしたとき側溝に流れるのですが、側溝が詰まっていたりするので、水たまりができて車が通ると水飛がしますが、この側溝を掃除することで簡単に防げると思います。商店などが前を掃除するときについでに側溝も見てもらえないか。また、道路の植栽をする時期が暑い時期に植えていますが、そのあと水をやるなど面倒を見ていないようです。商店などが打ち水をするときに、ちょっと撒いてもらうような協力をしてもらえないかと思っています。こういった事について、我孫子市はどう考えているのかなと思っています。

2点目として、市の借金の事です、国の借金は国民一人当たり600万ぐらい しているようですが、我孫子市はどうなっているのかなと思っています。借金は しないようにしてほしいです。

財政課長:28年度末市の借金現在高は313億円ほどです近隣の中では市民一人 当たりの借金は低い方です。

企画財政部長:借金はしない方が良いわけですが、家庭でいう住宅ローンと同じように、多額の財源を一気に支払うのは大変なことなので、5年や10年という一定期間を決めて返済するような方法をとっています。我孫子市の財政状況は様々な財政指標から見ても、現段階では問題ありません。

市長:借金をしないと決めてしまうことは大変危険なことだと思っています。借金をしないということは、我孫子に貯金がたまってからやるのですかということです。校舎の耐震工事や震災時の事業をする、新木駅の改修など借金をしてでもやらなければならない事業は、優先順位を付けて事業をすることとしています。借金をしてでもやらなければならない事業、しなくてもいい事業、先送りに出来る事業など、しっかり検討したうえで無駄な借金をしないようにしています。

道路については、ゲリラ豪雨が来ると道路冠水が起きている場所が市内でもあります。現場に行くと、側溝の上にビニール袋や落ち葉などが蓋をしてしまって

流れ込まない状況がほとんどです。お話にありました商店だけではなく、市民の皆さんの一人一人の小さな協力をいただいて、税金を出来るだけ使わないよう御協力いただきたいと思います。

我孫子で木を植えたばかりで枯れるということを見たことはありません。

ただし、手賀沼遊歩道の桜は残念ながら昨年冬植えたものが10本枯れましたが、今年植え替える予定ですが水場に弱いので土壌改良をして植えなおす予定です。

市民:国道356号の湖北小学校の入口交差点のスクールゾーンの標識が小さいことと、交差点より奥に設置してあることから確認しにくいと思っています。 もっと見やすい標識にしてください。

市長:小学校・中学校の周りはどこでもスクールゾーンを決めています。警察から はそのような情報がありませんから、現地を確認させてください。確認の上、 警察と協議させてください。